

技術士 1次試験に合格して



南里 由美

(なんり ゆみ)

勤務先

株式会社 ノース技研

札幌支店 設計調査グループ

〒065-0017 北海道札幌市東区北17条東15丁目4-20 リベル元町207

TEL 011-748-3032 FAX 011-748-3033

E-mail y-nanri@north-giken.co.jp

■ 専門：森林部門

1 自己紹介

私は学生時代に、海岸林造成などに関して研究しておりました。

大学院修了後は故郷の宮城県へ就職したものの、結婚と同時に北海道へと戻り、3人子どもたちが手を離れるまで専業主婦をしておりました。

その間には、契約職員などとしてNPO 法人環境防災総合政策研究機構で活動する機会もありましたが、その後、ご縁があり、現在の株式会社ノース技研に再就職いたしました。

現在は札幌支店設計調査グループで業務に携わっております。

2 受験しようと思ったきっかけ

2011年3月11日。私は、自宅のテレビの前で故郷の地が黒い水の塊に飲み込まれていくのをただただ眺めるしかありませんでした。

時が過ぎるにつれて確認されていく被害の大きさ、深刻さ。友人や知り合いの被災を知るたびに胸にのしかかる、被災していない者としての罪悪感。通った学校も部活動で走った松林も、もう何も残っていませんでした。

もう一度この地に、地域を守り住民が集える海岸林が復活することを願った時、自分の手の中に、学生時代に培ったものの片鱗が残っていることに気がつきました。

長期間のブランクを経てはありましたが、自分の心に火が灯り、技術士になって復興に関わりたいという思いが強くなり受験を決めた次第です。

3 受験勉強

昼は仕事、帰宅後も大学生・高校生を抱える5人家族の主婦としての仕事があります(ちなみに、お米30kg/月消費する家庭です)。まとまって取れる勉強時間はないと考え、勉強時間は地下鉄での通

勤時間をあてました。乗り換えなどもありますが、往復で30分/日は勉強に充てることができる勘定です(週3時間ほどになります!)。

地下鉄の中では過去問を繰り返し繰り返し読みました。計算が必要な問題や、読んだだけではわからない問題は印をつけておいて、週末の空いた時間に少しずつ解きました。暗記するよりも理解することを心がけ、正解にはチェックをつけて自分を励ました。

家族にも自分が勉強していることや難しい問題があることなどを聞いてもらい、褒めてもらったり励ましてもらったりしました。合格のハガキが着いた時はお祝いもしてくれました。感謝しています。

合格と一緒に喜んでくれた家族や同僚が居てくれる事が、次の二次試験の大きな励みであり、今のくじけそうな心を支えてくれています。

4 これから

被災地の復興は着々とは言えなくても確実に進んでいます。防災林としての海岸林再生もその一環として、あらゆる方々の手で始められています。

仕事を辞めて家庭に入り、現場の仕事の経験が積めていない状況の私にとっては、足元にある自分のできることを一つ一つ積み上げていくことが復興の手助けになると信じて進むしかありません。私に今できることは、技術士になり少しでも現場に近づく可能性を高めること、海岸林の勉強を続けることと思ひ、目の前のことを一つ一つこなしています。

専業主婦であった期間にも沢山の得るものがありました。子どもの手・母親の手・地域の手大きさ、そしてそれらがあらゆる取り組みの原動力となり、その継続につながることを身を持って体験しています。その体験が私の強みにできる技術士になりたいと思っています。